

令和7年度 第一回嘉麻市環境審議会（会議要録）

○会議名称 令和7年度 第一回嘉麻市環境審議会

○開催日時 令和7年10月14日（火）13時00分～14時00分

○開催場所 嘉麻市役所本庁舎 5階 委員会室2

○公開又は非公開の別 公開

○非公開の理由

○出席者

（審議委員）敬称略

松本 幸三、鳥越 晴子、長野 美津子、岩永 利勝、大村 徹男、穂積 千絵、
三浦 誠司、嶋田 尋美、山田 久能

※欠席委員 2名（佐伯 憲子、松田 クニ子）

（事務局）

環境課長 高野 浩典 環境課長補佐 佐藤 浩一 環境衛生係 和智 康考
業務委託業者 藤井 祐子、澤和 桃子

○傍聴人数 0人

○議題及び協議の内容

1 会長挨拶

⇒嘉麻市環境審議会会長の松本でございます。本日は、前回の会議でもお話のありました第2次嘉麻市環境基本計画の見直しについてご審議いただきます。後ほど、見直し内容について事務局から説明がありますので、委員の皆様からのご意見、ご質問をよろしくお願いいたします。何分不慣れではありますが、本日の議事をスムーズに進められますように努力してまいります。皆様、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2 委員及び事務局職員自己紹介

3 審議事項

1) 環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の見直しについて

2) 今後のスケジュールについて

・事務局から環境基本計画等の見直し方針（案）及び今後のスケジュールについて説明。

⇒ 質疑応答

・業務委託会社について

(岩永委員) 業務委託会社はどのような業務をしている会社なのか。会社はどこにあるのか。

(事務局) 水や大気の分析や環境基本計画、地球温暖化対策実行計画等の自治体の計画策定の支援等を行っている。会社は福岡市にある。

・廃棄物分野の温室効果ガス排出量の算定等について

(松本会長) 資料1のp. 7～8のグラフは対策前の算定結果で、対策後の算定結果がp. 8に示す結果になるのか。

(事務局) 事前配布した7ページの数値の中で、2019年度以降は算定手法（按分）という赤い矢印を記載しており、2018年度以前と比較して、若干高くなっている。2018年度以前は嘉麻クリーンセンターの実績値をもとに廃棄物分野の温室効果ガス排出量を算定していたが、嘉麻クリーンセンターの管理運営が一部事務組合になった2019年度以降は、事務組合が一部管理・運営している桂苑、飯塚市クリーンセンター等を含めた値を各市町村の組合負担金で按分して算定していた。算定手法が按分の場合と、嘉麻市の実績値をもとに算定した廃棄物分野の温室効果ガス排出量には乖離があったため、事前配布資料を修正させていただいて、8頁に記載している廃棄物分野の温室効果ガス排出量をもとに、嘉麻市域の温室効果ガス排出量（全体）を算定した。

(松本会長) p. 8の算定結果のほうが実績値に近いということか。

(事務局) ご認識の通り。

(嶋田委員) 現在、嘉麻クリーンセンターが稼働休止ということで、嘉麻市のごみはどこで処理されているのか。

(事務局) 嘉麻市の可燃ごみは、桂川町の桂苑のほうに全量搬入している。不燃ごみ等については、リサイクルセンターで処理している。

(嶋田委員) 桂苑のほうに大きなごみ処理場ができるということで、嘉麻議会とも揉めたと聞いたが、各市町村ですね、飯塚市、桂川町、嘉麻市で話がまとまっていない状況で、現在、地域によっては署名活動が行われている状況を知っているか。

(事務局) 事務局のほうに連絡はない。

(嶋田委員) 議会ではどうか。

(岩永委員) 内容的には一部事務組合が関係しているため、議会では立ち入れない内容となる。本内容について、議会から質問できるわけではない。

(嶋田委員) 総予算が800億円かかると聞いた。そこに資本金を出せる自治体は、飯塚市、嘉麻市、桂川町があるが、事業関係の観点から、桂川町のほうが優先的に仕事を与えられるというような話を聞いた。署名活動については、各地域でやっていると思うが、議会が中心となってやっている聞いた。このことから、市のほうは知らないと思い、議会側で、話の折り合いがつかなかったと推測しているがどうか。

(岩永委員) 嘉麻市議会ではなく、他議会で話が中断されている。

・会議への要望について

(嶋田委員)

今日初めてこの委員会に参加したが、分かりやすく説明していただきたい。温室効果ガスと言われても、身近に感じる事が出来ないため、どのように温室効果ガス排出量を削減できるかを考えている。中国では、温室効果ガスをかなり排出している。世界全体として考えるなら、中国等で削減を強化していく必要がある。日本では、温室効果ガス排出量の削減はかなり進められていると思う。嘉麻市で温室効果ガス削減の取組を検討するために審議会を開催する際は、難しい言葉ではなく簡単な言葉で、わかりやすく、今後説明していただきたい。

・嘉麻市の環境に関する取組について

(松田委員)

主婦の立場で言うと、捨てればごみ、活かせば資源である。嘉麻市の場合は、燃えるごみは週2回来ていただいている。ゴミ袋の極小があることに本当助かっている。極小の金額でそういう美化ができることは、嘉麻市は素晴らしいことと思う。嘉麻市も決して豊かではないが、投資しなければいけないところは投資しないといけないと思う。大根一本でも皮を削いたら捨てるのではなく、手間ひまかけたらまるごと使える。そのような意識（原点）を勉強ができるような仕組みができないかなと思うがいかがか。また、国の土地の農林が私の家の裏にあり、飯塚の農林事務所にお世話になっている。丁寧に草刈りをしていただいている。嘉麻市にもそういう若い方々はいて、職員の削減とも聞くが、若い方が働きやすいような方向にしていきたい。その方向が環境にもつながると思うが、皆様いかがでしょうか。

(事務局) 見直し方針の1つとして、p.4に示した通り、環境イベント参加者数という指標の追加を検討している。実際に開催できるかは今後の検討になってくると思うが、食品ロス等の環境イベントを開催して、環境配慮等に関する周知や環境関連についての情報提供等をしていきたいと考えている。本指標の目標値を800人としているが、現状値が150人となっている。新型コロナウイルスの感染拡大の年の前までは嘉麻市内で開催しているふれあいまつり等で環境イベントブースを設置していたが、感染拡大以降、大きな祭りが開催できていない。今後徐々に、大きな祭り等が復活していくと思われるため、併せて環境イベントとも一緒に開催したいと環境課では検討しているところである。

(事務局) 追加で松田委員の意見をもとに、環境基本計画への意見の反映を考えると、環境基本計画に記載されているコラムの内容を市民の皆様によりわかりやすく伝えられるよう、イラスト等を追加し、環境への取組を周知できるようなコラムにするよう見直しを行う。

(松田委員)

松本会長は生態についてご存じないか。

(松本会長) 生態に関して専門家ではないため、一般的なことしかわからないが、嘉麻市は非常に環境が豊かな場所にあるということで、生態系をいかに保護していくかっていうのは非常に大切なテーマになっているということで、現行計画に

も目標が挙げられている。現行計画には、正しいことが書かれていると私は考えている。

（松本会長）生態系とは関係ないが、本日の資料を拝見すると、二酸化炭素の削減というのが大きな問題になっている。基本的に嘉麻市の二酸化炭素の削減というのは、日本全体の削減対策に沿って、嘉麻市でも削減をしていくという流れで、目標値は達成できるとなっている。国の削減の通りに進めていくのは理解できるが、嘉麻市自体が特に力を入れて進めていく対策はあるのか。

（事務局）基本的には国の施策に則って、今回も計画を見直す予定ではいるが、嘉麻市独自の対策としては、財政も厳しいところがあるため、財政の状況を踏まえなければ、バイオマス施設の建設等を行い、環境への取組等を推進していきたいが難しいのが現状である。嘉麻市でできることをやっていくという観点から、嘉麻市では、市民が太陽光パネルを自宅に設置する際には、補助金を準備しており、また、環境を良くしていこうと一人一人が考えて行動できるように周知していくことに力を入れていくことが、一番大きな嘉麻市の対策として考えている。できることを取り入れて進めていく。

4 その他

（事務局）今後のスケジュールについて、改めて、周知させて頂く。今回の意見をもとに環境基本計画策定推進委員会でパブリック・コメント用の計画書素案を作成した後、12月にパブリック・コメントを行う。パブリック・コメントで提出された意見を1月に予定している審議会で審議し、最終意見を計画書に反映させた後、概要版の作成を行う。その間、審議会を開催するような変更等が生じた場合は、松本会長と議題や日程等の調整を行い、事務局より文書等でご案内させていただく。その際は皆様のご協力をお願いしたい。

（松本会長）以上で、第一回嘉麻市環境審議会を終了いたします。お疲れ様でした。